

公益社団法人 私立大学情報教育協会
2020年度第2回短期大学会議教育改革 ICT 運営委員会議事録

I. 日時 令和2年6月9日(火) 17:00~19:00
場所 公益社団法人 私立大学情報教育協会事務局会議室

II. 出席者 戸高委員長、三田委員、西岡委員、後藤委員、大重委員、
山野美容芸術短期大学(及川先生)、和泉短期大学(深町先生)、
大阪夕陽丘学園短期大学(治京先生)、別府大学短期大学部(衛藤先生)
上田女子短期大学(林先生)
*すべてネット(Teams)にて出席
(事務局 井端事務局長、中村)

III. 検討事項

1. 地域貢献支援事業の試行に向けた具体的な取り組み内容とスケジュールについて
コンソーシアムの取り組み状況について参加校から報告し、現状の活動情報を共有する
とともに、今後の詳細計画について議論を行った。

(1) 「高齢者支援事業」に対するコンソーシアム取り組み状況と今後の取り組み計画について

① 実践女子大学短期大学部の対応

- ・ ネットを使い「ICT活用による世代を超えた交流活動」の実施にむけ、6月9日の正午に30分程度の説明会をZOOMミーティングで行った。
- ・ 説明会には、学生8名と日野市2名が参加した。
- ・ 前期はネットで昼休み時を利用して数回実施し、後期は本格的活動を計画している。
- ・ 説明会では、学生から山野美容芸術短大なども加わった地域貢献活動に価値を感じていることがうかがえた。

② 山野美容芸術短期大学の対応

- ・ 「ICT活用による世代を超えた交流活動」には、山野美容芸術短期大学として後日改めて参加する予定としている。
- ・ 山野美容芸術短期大学が独自に進めている本庄市における高齢者美容への支援の取り組みは、現在コロナ禍のため止まっているが、十分な感染予防対策を行った上で、後期に向けて参加学生の募集を行うとともに、本庄市との協議を行う計画にしている。

(2) 「地域価値発見支援事業」に対するコンソーシアム取り組み状況と今後の取り組み計画について

① 大阪夕陽丘学園短期大学の対応

- ・ 志摩市とネットを利用してキャリア創造学科の学生(2年生30~40名)を中心にパズルコレクション活動を継続している。来年2月のパズルコレクションは実施できる予定である。また、市の図書館と短大が連携して遠隔による情報提供の交流が広がっている。
- ・ 養父市との協定により、後期に向けてウエディング関連の支援事業を計画している。

② 別府大学短期大学部の対応

- ・ 県内の高等学校との連携をもとに地元自治体との支援事業を考えており、後期に向けて検討を進めることにしている。

③ 上田女子短期大学の対応

- ・ 現在、コロナ禍のため学生活動が中断しているが、上田電鉄の沿線紹介の支援を継続していく予定でいる。

(3) 高齢者支援事業、地域価値発見支援事業の試行スケジュールについて

試行スケジュールについて、9月に具体的計画を策定し、10月に試行を開始して、12月に完了を目指すことを確認した。

(4) 地域課題取り組み情報共有の支援事業について

コンソーシアム活動の基盤となる「プラットフォーム」を早急に設け、コンソーシアム内で情報共有を始めることが重要であり、有力な候補である Google Classroom についての検証を事務局と西岡委員で行うことが確認された。

2. 今後の委員会開催日程について

後期の試行に向け、運営委員会と参加の短大との間で8月から9月に具体的な活動計画を詰めることにした。当初は10月9日(金)としたが、あらためて12月26日(土)14時より ZOOM 会議にて開催することとした。